

園長挨拶

長い梅雨の合間にいつの間にかセミの声が聞こえ始めました。季節はすっかり夏です。地域の皆様には、日頃より蓮代寺こども園の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大状況下で始まった令和2年度は、感染拡大防止のため登園自粛をお願いし、手洗い、消毒の徹底や3密を避けた生活が日常となり、緊急事態宣言解除後は「新しい生活様式」で生活の毎日です。地域の皆様におかれましても同様、ご家族の健康を心配されつつの毎日ではないかと思ひます。

昨年度より始めました「ふれあい食堂」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いお休みをしておりますが、未就園のお子様の「たけのこ広場」と共に再開の目途が立っておりません。地域の皆様におかれましては、どうか健やかに過ごされ、再開の折には元気な皆様とお会いできることを楽しみにしております。

かねてより計画を進めておりました園舎移転新築ですが、施工業者が決まり、29日に地鎮祭を行い、工事開始の運びとなりました。来春には、子どもたちにとって素晴らしい園舎が完成することを楽しみにしております。これから半年余り、近隣の皆様、地域の皆様には、何かとご迷惑をおかけすることとなりますが、よろしくお願いいたします。

蓮代寺こども園が大切にしていること

—教育・保育方針【三つのゼン】安全・自然・積善—

安全

◎子ども一人一人が健康・安全で情緒の安定した生活と充実した活動が行えるよう環境を整えます。

- ・周囲の大人や友だちから、かけがえのない存在として受け止められることで、自己肯定感が育まれ、それが自分への自信に繋がり「心の土台」ができていきます。
- ・安定した情緒のもと、主体的に環境に関わり活動する中で、自らの身を守る安全意識を身につけていきます。

自然

◎自然に触れ深い感動体験を重ねることで豊かな感性を育みます。また、子ども一人一人の個性も自然と捉え、その子らしく主体的・意欲的に活動できるように関わります。

- ・自然の中での感動体験は、自然に対する畏敬の念、親しみなどを育むだけでなく、科学的な見方や考え方の芽生えを培う基礎となります。
- ・子ども自ら「もっと知りたい」と環境に関わり、意欲的に取り組む（主体的）ことや、友だちや保育者の考えを取り込みながら、自分もまた考えを出し（対話的）、試行錯誤を繰り返しながら（深い学び）、意欲や好奇心、協調性、粘り強さ等の学びに向かう力を育てていきます。

積善

◎人として生きていくために必要な行動の基礎である道徳性の芽生えを認め、自分なりに気づき考えられるように援助し、心の育ちを支えます。

- ・友だちや保育者と関わる中で、楽しさを味わうとともに、自分の気持ちを調整し折り合いをつけることもできるようになり、徐々に共通の目的に向かって協同性を発揮していきます。
- ・よいことや悪いことに気づき、考えながら行動したり、決まりの大切さを理解し守ったりするようになり、規範意識や道徳性を身につけていきます。



よい安全にプール遊びを楽しむために

夏本番を迎え、いよいよ子どもたちの大好きなプール遊びや水あそびが始まります。これらの活動を行うにあたり、職員間で事故防止についての話し合いをもちました。主な内容は以下の通りです。

- ・心肺蘇生法
- ・AEDの使い方
- ・熱中症予防
- ・暑さ指数の測定
- ・事故発生時対応（園内救急体制）
- etc



今年はコロナウイルス対策として3密（密室、密閉、密集）を避けるためにグループに分ける等、少人数で入水し、プール遊びを行います。夏ならではの遊びを思いっきり楽しみ、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思ひます。

お花に心なごみます

東山町の辰巳さんが、今年も色とりどりのゆりの花を届けてくださいました。

東山町の辰野さんからいただいたアサガオの種で見事なグリーンカーテンができました。



赤しそ摘み

園庭の畑で育てた赤しその葉を摘む。じっくり観察したり匂いを嗅いだりする。（観察力・五感を働かせる）



穴、空いてる。おいしい匂いしたから虫が食べたのかな？

しそ漬

紫色の汁が出てきた！



塩もみをしたしそを梅酢に漬かった梅と合わせると色の変化が見られる。（不思議さへの興味・関心）



紫色からきれいな赤色になったね

7月末には梅の天日干しを行います。子どもたちの気づきや発見、感じる心を大切に梅の活動を続けていきたいと思ひます。

梅干し作りの活動から見た学びの姿（主体的・対話的で深い学び）

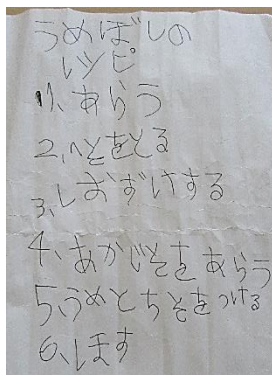
梅干しってどうやって作るの？

梅干しがどのように作られていくのか興味津々。（主体性）友だちと疑問点を出し合ったりして意見を交わす。（対話）



自分たちでわからないことは聞いてみよう！！（主体性・探求心・協力性）

1人の子が、おばあちゃんに聞いた梅干しの作り方を友だちに知らせたいと、レシビを書いて持ってきました。（主体性）



へそって何？

梅の黒い所、取ったことあるよ！

しおづけて？塩をお皿に乗せて（梅を）コロコロする？

園庭の畑の赤しそを入れよう

網をかけて干す？

梅干し作り開始！

塩漬けした後、梅はどうなるのかな？（好奇心・思考力・対話）



梅がしわしわになるのかな？

汁が出てジュースになる！

数日後



塩がなくなった

出てきた汁が梅酢なんだね（給食の先生に聞きました）

たくさんマスクをいただきました！

三谷町の有限会社小松縫製の嵐 真人さんより「こども園ではマスクが不足しているのではないですか？新型コロナウイルスの感染防止に役立ててください。」と、園児と職員の数分の布製マスクを頂きました。このマスクは、社員の方が1枚1枚丁寧に手作りされたものとお聞きしました。本当にありがた思ひます。

玄関まで受け取りに行った年長組の子どもたちは、段ボール箱にぎっしり入っている色とりどりのマスクを見て、「わぁー可愛い！！」と大喜びでした。



採れたてのキュウリと梅干しで元気モリモリ！！

蓮代寺町の北出さんより梅干しを頂きました。食欲が落ちるこの季節。子どもたちは給食でご飯と一緒に食べています。また、蓮代寺町の横田さんからは、切口が星型やハート型のキュウリを頂きました。見た目がかわいく、楽しみながら味わうことが出来ました。ありがとうございました。

